



More Jobs
Better Lives

年次報告書 2023

2022/8/1-2023/7/31

More Jobs Better Lives
公益財団法人





目次	・・・・・・・・ 1
MJBLの「原点」	
設立趣旨	・・・・・・・・ 2
ミッション	
summit	・・・・・・・・ 3
MJBLの「事業」	
事業分野／事業概要	・・・・・・・・ 4
外国人留学生 支援事業	・・・・・・・・ 5
外国人技能実習生 支援事業	・・・・・・・・ 7
外国人技能実習生 受入農家支援事業	・・・・・・・・ 10
事業者支援 NGO助成事業	・・・・・・・・ 11
外国人留学生支援事業の仕組み	・・・・・・・・ 12
外国人技能実習生支援事業の仕組み	・・・・・・・・ 13
受入農家 支援事業の仕組み	・・・・・・・・ 14
新事業：事業者支援	・・・・・・・・ 15
MJBLの「軌跡」	・・・・・・・・ 16
法人概要	・・・・・・・・ 17
最後に	

雇用の力で、世界中の人々に豊かな暮らしを

設立趣旨

2015年4月25日、ネパールカトマンズでM8の街を崩壊する大地震が起きました。その時、僕たちはエベレスト中腹の6400m地点アドバンスドベースキャンプにいました。エベレスト登山を目指す僕をサポートするシェルパは総勢13名、それぞれに家庭があり生活があります。

エベレストを含むヒマラヤ登山は2ヶ月程の長いキャンプのため、食料などを運び込むシェルパの存在が欠かせません。彼らと寝食を共にする長期キャンプは、言わば家族のような関係を築きます。カトマンズで起きた地震は、そのシェルパの人たちの生活を例外なく変えました。その大惨事の中、これまでお世話になったシェルパを含むネパールの人たちに自分たちができることはなにか。考えた挙句、ネパールでの起業を通じてネパールに仕事を作ろうということになったのです。

ネパールは、1日2ドル未満で生活する人の割合が70%を超えるアジア最貧国です。上は中国、下はインドの大国に挟まれ、国土のほとんどが山間部で、貿易に重要な港はありません。また、計画停電しなければ成り立たないような状態です。そのため、事業プランは、商業、工業では現実味が無く、農業や林業など現地ですぐに行けるもの限定されました。一方、事業の唯一の活路は、中国、インドの大国に挟まれた立地故に、ネパールには世界各国の大使館の数が多いということでした。各国の大使館などで働く一定の所得がある人たちに買ってもらえるものは何だろうか？ネパールの地で作り、ネパールにいる外国人に売れる農作物は？出した結論は、「日本産のイチゴをネパールで作り、それを現地の外国人など高所得者に販売する。」ということでした。

日本に帰国後、開発特許の切れたイチゴの苗を3000本買い付け、空輸してたら枯れてしまうので、120リットルのスーツケース2つにいっぱい詰め込んでハンドキャリーしました。それを山間部にあるカカニ村の農民たちに無償で配りました。彼らにお願いした条件は一つだけ、受け取ったイチゴをきちんと育てること。育てたイチゴは僕たちが1キロ300ルピーで必ず買い取ることを条件にしました。僕たちの試算では、1農家が年間育てられるイチゴの生産量は概ね平均2000キロ、キロ300ルピーで買い取りますから、1農家の収入は年間60万ルピーになります。それは家族5人を養うに足る収入となります。

次に、買い取ったイチゴを各国大使館、ホテル、スーパーなど、カトマンズ市中に売りに行きました。高品質なイチゴは、僕たちの想像以上に売れました。売れたイチゴから出る利益は、すべて新しいイチゴの苗の買い取り資金に充て、その買った苗をまた新しい農家に無償で配る。それを繰り返して、このプロジェクトを開始した2015年10月から3年間で、60を超える契約農家に増えました。1農家5人の雇用だとして300人分の仕事につながりました。スーツケース2つ分の苗が、わずか3年後に300人の仕事につながったのです。このようなプロジェクトを、仕事を必要としている地域や国に広げていきたいと考えています。

2018年8月。More Jobs Better Lives財団、活動の目的そのままを財団名に掲げました。

いま世界の失業者は2億人を超えます。僕たちにできることを、一つひとつ時間をかけて真剣に取り組み、目の前にいる人や、起きていることに感情移入しながら、その活動範囲を広げていきたいと思っています。

代表理事 若山陽一

Mission

More Jobs Better Lives

より多くの仕事で、より良い人生を



Summit

世界で100万人の雇用創出

～開発途上にある海外の地域～

事業分野

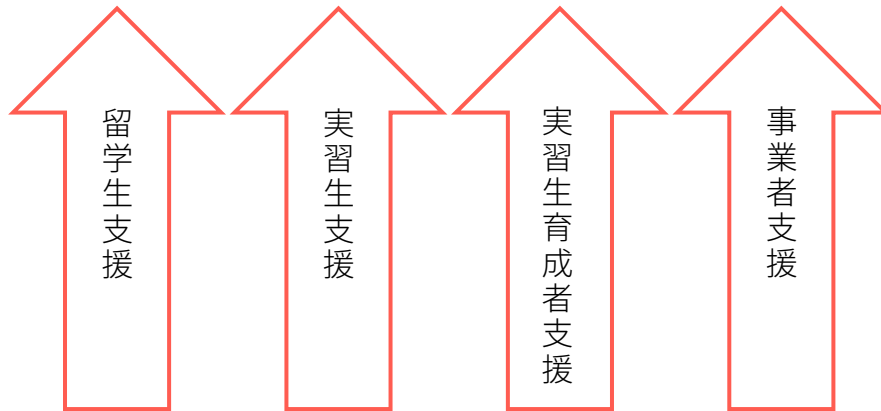
仕事創造 / 雇用創出 / 人材育成

事業概要

雇用と仕事の機会づくりを通して
生産的な仕事と安定収入をもとに豊かに暮らす人々が増え
世界中の地域が活性化されている未来



知識とスキルを持つリーダー
安全かつ効果的な非営利団体
ソーシャルビジネス



支援金
知識

MJBLの4つの支援領域

グローバル
パートナーシップ

仕事
創造雇用
創出人材
育成

外国人留学生 支援事業

留学生プロフィール

	1 期生			2 期生
				
氏名	Sara Tokhi Arab	Arifa Jannat	Issa Abrahaman Kachenje	Yllah Okin Kang
カナ	サラ・トキ・アラブ	アリファ・ジャナ	イサ・アブラハマニ・カチャーング	イラ・オキン・カング
出身国	アフガニスタン	バングラディシュ	タンザニア	コンゴ民主共和国
研究テーマ	干ばつと降雪による鉄砲水のダメージを受けているブドウ農家を支えるための地理空間保護モデルの改善	社会課題「飢餓をゼロに」、気候変動が非穀物食物に与える影響、農家の収入に与える影響	タンザニアの主要輸出換金作物である茶産業における小規模茶農家の経済成長、貢献度拡大への策	首都キンシャサ市におけるプラスチック廃棄物の環境、健康、経済、社会への影響の評価
現在	<卒業> つくば大学大学院研究室に勤務中	<卒業> 帰国し、派遣元の研究室に在籍中	<卒業> 東京農業大学大学院の博士課程へ進学し、エコアグリツーリズムについて研究中	<支援継続中> 国際機関での契約スタッフ、民間企業でのインターンと並行して、翌3月まで研究を継続。



母国の社会課題に解決に向けた研究を行うため日本を選び、留学生として来日しております。奨学金の支援と併せて、母国の課題解決のために必要な人材交流など、留学生一人ひとりと連携し、MJBLのミッションの達成に向けて活動しております。

支援概要

- 毎月のレポート提出：研究の進捗状況、私生活相談
- 半期1回：交流会
- 2回/月：MJBL担当者によるコミュニケーション連絡
- ネットワーク構築：日本国内、母国の法人または個人との連携のための打合せ
- 外部メディアとの接続

外国人留学生 支援事業

第4回公募の実施

MJBLがゴールに掲げる「発展途上地域における雇用創出」をより効果的に実現するため、事業内容を見直し、本公募より、募集対象者を学生起業家に特化したしました。選考の結果、応募基準に沿う学生はおりませんでしたので、今回は合格者なしといたしました。

- ・公募期間：2022年9月20日～10月31日
- ・支援開始：2023年4月～
- ・応募総数：4名 →最終選出者：0名

～応募があった国籍～

バングラディシュ、ミャンマー、タンザニア、スリランカ（対象外）

奨学金支給期間

- ・奨学金給付期間の原則：支援開始月から各人の修了月まで。複数年になる人もいます。

支援への協力依頼

各国の情勢が様々ですが、アフガニスタン、バングラディシュ、タンザニア、コンゴ民主共和国の出身者を支援しております。技術協力、連携、研究など気になることがございましたら、ぜひとも、MJBL事務局までご連絡ください。

外国人技能実習生 支援事業

実習生4名とも入国から1年が経ち、農業技術も語学力も、受け入れ農家の指導の下、大きく成長しております。

- ・来日時期：2022年4月～6月
- ・男性2名5月、女性2名7月に各受入農家へ配属済み

実習生プロフィール

NO	Name／国籍	Photo
1	Dinesh Lama ディネス ラマ ネパール	
2	Ram Bahadur Tamang Syangtan ラム バハドゥール タマン シヤンタン ネパール（持病のため2023年9月に帰国）	
3	Shahansila Zimba Lama シャハンシラ ジンバ ラマ ネパール	
4	Shubhalaxmi Rumba シュバラクシミ ルンバ ネパール	

●現地スタッフによるフォローアップ

MJBLでは、実習生4名が日本で生活中も、ネパール駐在スタッフ勝手によるフォローアップを行い、コミュニケーションの継続を図っています。今後はさらに、ネパールへの技術移転と上記4名のリーダーシップ育成に向けて、現地スタッフとともに検討してまいります。

外国人技能実習生 支援事業

ネパール人実習生と同じく、入国から1年が経ち、2名とも日本で自動車運転免許を取得し、実習現場でも活躍しています。語学力、体力ともに十分なため、後から入国したインド人実習生3名の指導や、車での送迎なども担っています。残り2年間の実習後、インドでの活躍先をMJBLも一緒に探索します。

- ・来日時期：2022年4月、5月に受入農家へ配属済み

●インド人実習生の支援開始

NO	Name／国籍	Photo	志望動機／略歴
1	Singh Yogendra Pratap シン・ヨゲンドラ・プラタップ インド		現在、サカタの種を利用して農業をしています。日本の農業技術を取り入れたいです。 職歴：農業 栽培作物：キャベツ、トマト、ピーマン、ブロッコリー、じゃがいも、麦
2	Shirsat Popat Shahadev スリサット・ポパット・シャハディウ インド		日本で農業技術を学んで、自分の畑に導入したいです。 職歴：農業 栽培作物：さとうきび、ターメリック、大豆、麦
3	Vishal Katiyar ヴィシャル カティヤール インド共和国		トラクターの操縦歴もあり、日本の技術を自身の農場で活かします。 職歴：農業 栽培作物：トマト、芋、米
4	Raghvendra Singh ラグヴィンドラシン インド共和国		高校卒業後すぐロヒアに入寮し、日本語学習を修了後はロヒアで日本語講師として従事。ヨゲンドラ氏の親戚。 職歴：機械修理、畑仕事
5	Ritesh Sharma リテシュ シャルマ インド共和国		他社に実習生で採用されるもコロナで採用取り消しになった経験あり。 職歴：農業 栽培作物：

外国人技能実習生 支援事業

●東京農業大学にて2日間のWSを実施：2023年7月

東京農業大学 地域環境保全学研究室 准教授／MJBL財団選考委員長の下嶋先生のご厚意により、学生向けに2日間のワークショップを実施しました。

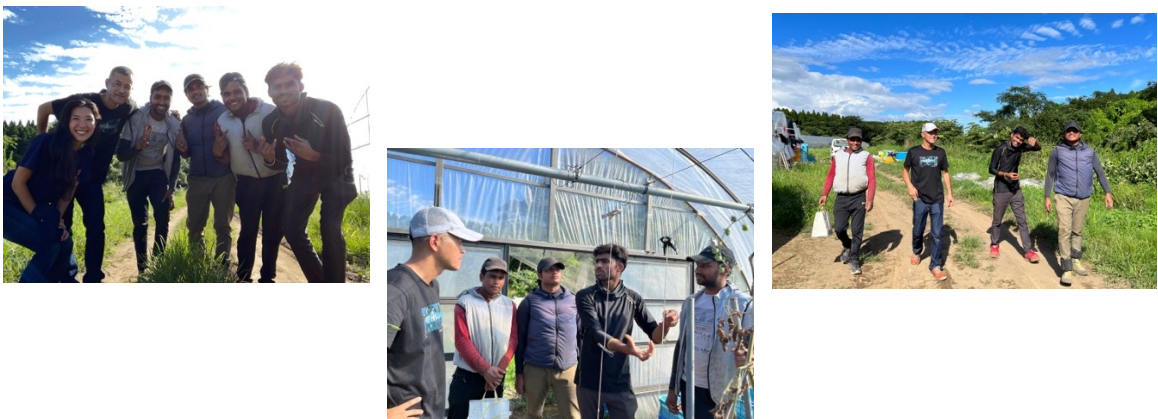
「ネパールカカニ村のイチゴ栽培による雇用創出・収入向上を考える」をテーマに、ネパール人実習生のシャハンシラさんとシュバラクシミさんが講師を務め、同じくネパール出身で東京農業大学のマスケ先生、研究室のディープさんが通訳として参加して下さいました。参加した学生8名は、限られた時間の中で、質疑応答、ディスカッションを繰り返し、3チームに分かれて発表を実施しました。



プレゼンには理事 竹内氏も駆け付け、学生達へのコメントも

●各農家に配属された実習生達を訪問：2023年8月

ネパール駐在スタッフ勝手とともに、熊本、宇都宮、茨城を訪問しました。



外国人技能実習生 受入農家支援事業

コロナ禍中も実習生達の住環境の整備などを行いながら入国を待ち、昨年春より実習生達を育成しております。圃場での技術指導にとどまらず、生活面でのケアや出張への同行などあらゆる面で実習生達を支え、よりよい未来のために様々な経験を提供して下さっています。

受入農家様プロフィール

対象 実習生	ネパール		インド
			
氏名 (法人名)	岡里勝己	鈴木啓介 (株式会社鈴木いちご農園)	高本昌揮 (株式会社鷹本農産)
所在地	茨城県行方市	栃木県宇都宮市	熊本県玉名市
栽培作物	いちご		ミニトマト、米

事業者支援 NGO助成事業

第1回公募の実施

- ・公募期間：2023年1月4日～1月31日
- ・支援開始：2023年10月～
- ・応募総数：6団体 →最終選出者：1団体

助成金支給期間

- ・助成金給付期間の原則：PJ実施期間と同様、助成金3,000,000JPYを3回に分けて支給

支援への協力依頼

支援先団体LWFが主体となり、制作するリーフプレートを日本へ輸入する準備を行なっております。リーフプレートの活用に関してご興味、ご関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひMJBL財団事務局までお問合せください。

支援先団体プロフィール

No	Name／活動地域	Photo	プロジェクト概要
1	LWF Nepal / カンチャンプール郡 ベラウリ市		<p>「元債務労働者のための雇用創出プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極西部に自生するサラソウジュの葉っぱを使いリーフプレートを製造して、現地で販売することで、元債務労働者の雇用を生んでいく ・まずは元債務労働者の家族20人が裨益をする

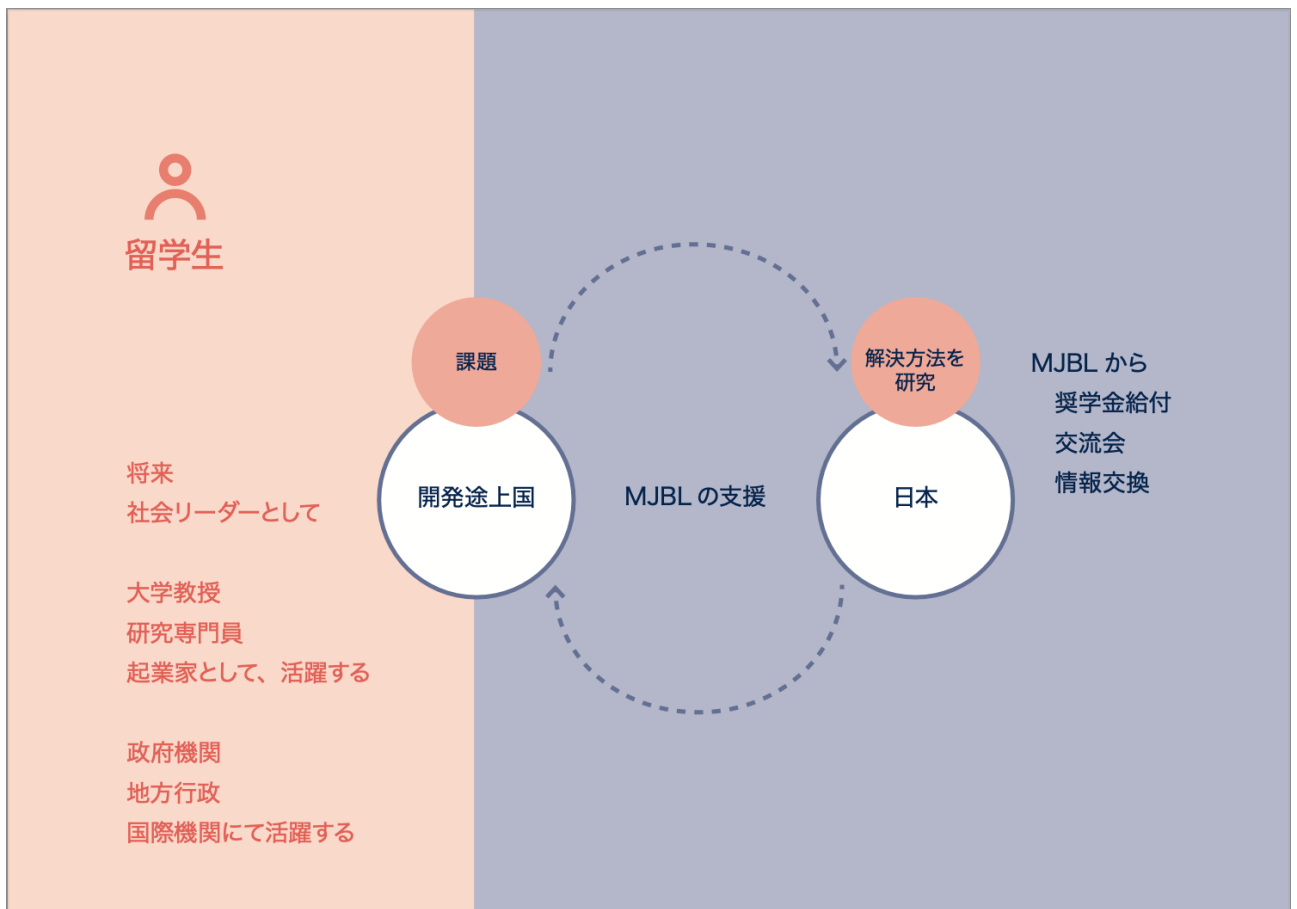
外国人留学生支援事業の仕組み

私費留学で来日し経済的支援を必要としMJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に繋がる活躍が期待できる留学生に対し奨学金を給付し、現在の「学び」「研究」を支援し、母国の発展に寄与する。

実績

国名	人数
アフガニスタン	1
バングラディシュ	1
タンザニア	1
コンゴ民主共和国	1

事業図



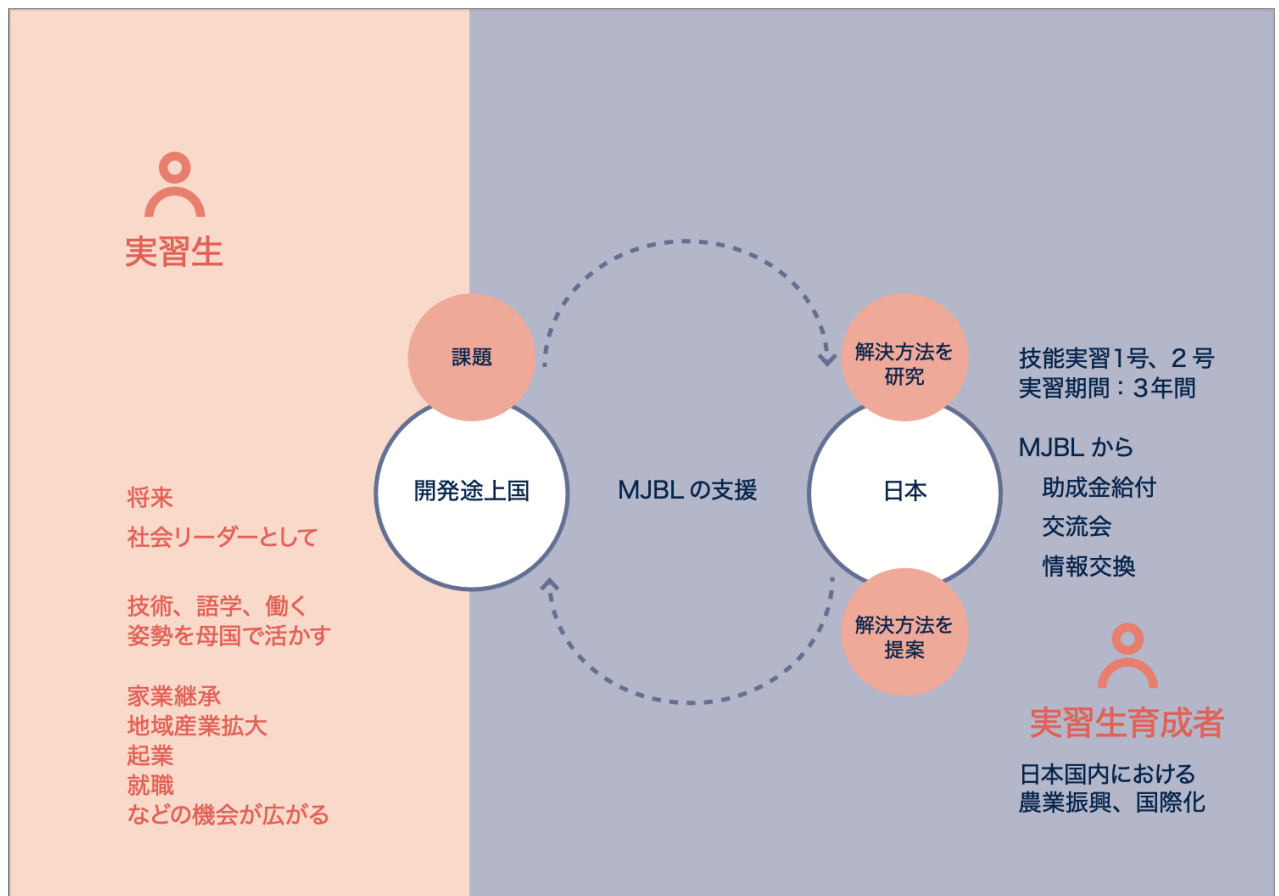
外国人技能実習生支援事業の仕組み

外国人技能実習制度を活用して日本で技能や技術を学び、MJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に寄与することが期待できる実習生に対して助成金を給付し、日本での生活を支援し、母国の発展に寄与する。

実績

国名	人数
ネパール	4
インド	2

事業図



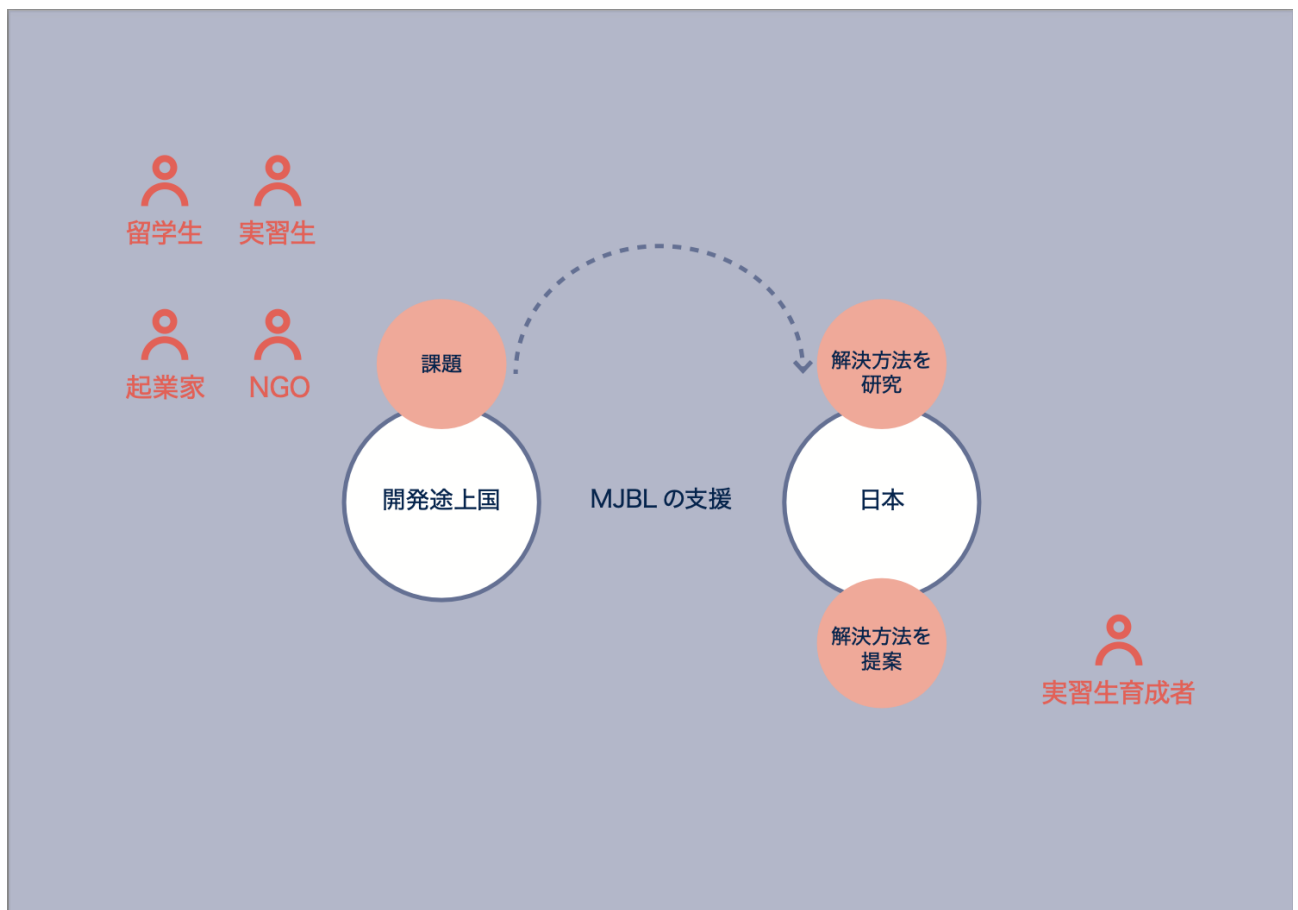
外国人技能実習生受入農家 支援事業の仕組み

MJBL財団と協力・連携し外国人技能実習生を受入れる実習実施先に対し助成金を給付する。そして、人材育成の場所である実習実施先を広げることによってMJBL財団の目的である「開発途上国の生活水準の向上」に寄与する。

実績

都道府県	実習実施先	対象実習生	
		国名	人数
茨城県	1	ネパール	2
栃木県	1	ネパール	2
熊本県	1	インド	2

事業図



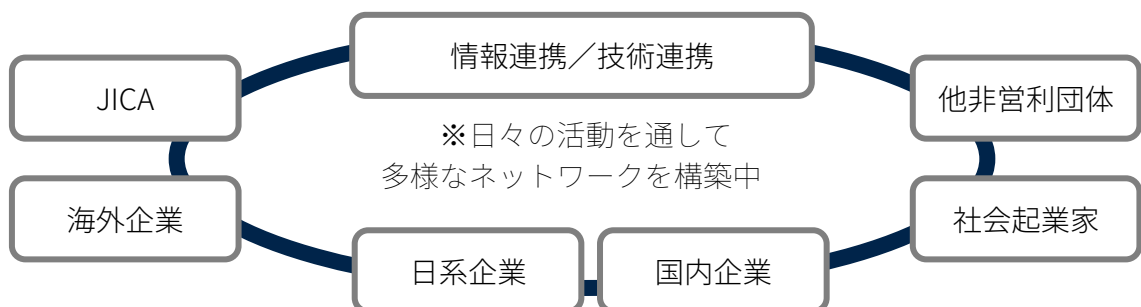
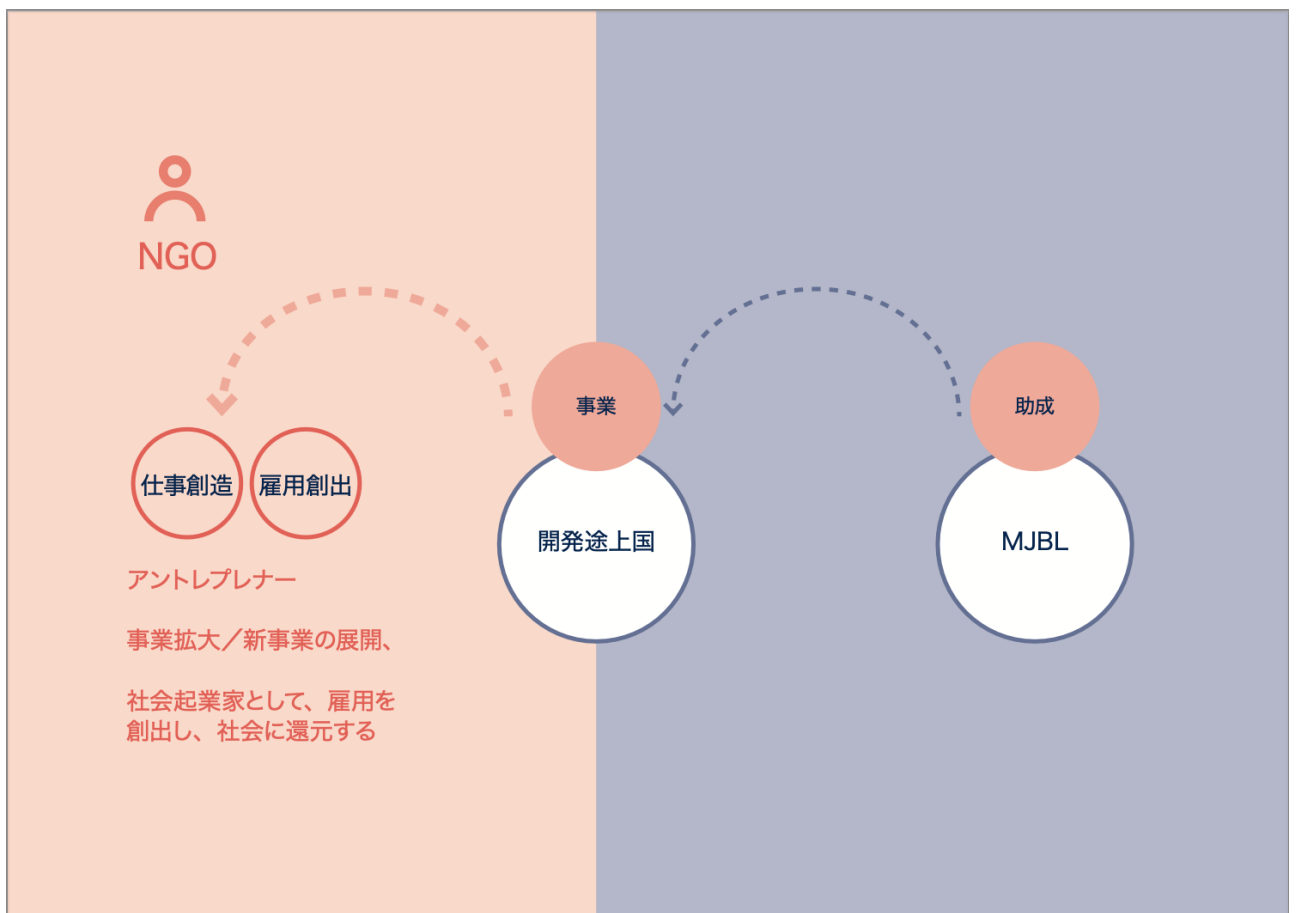
事業：事業者支援 NGO助成事業

※公益事業認定取得（2021年6月25日）

予定

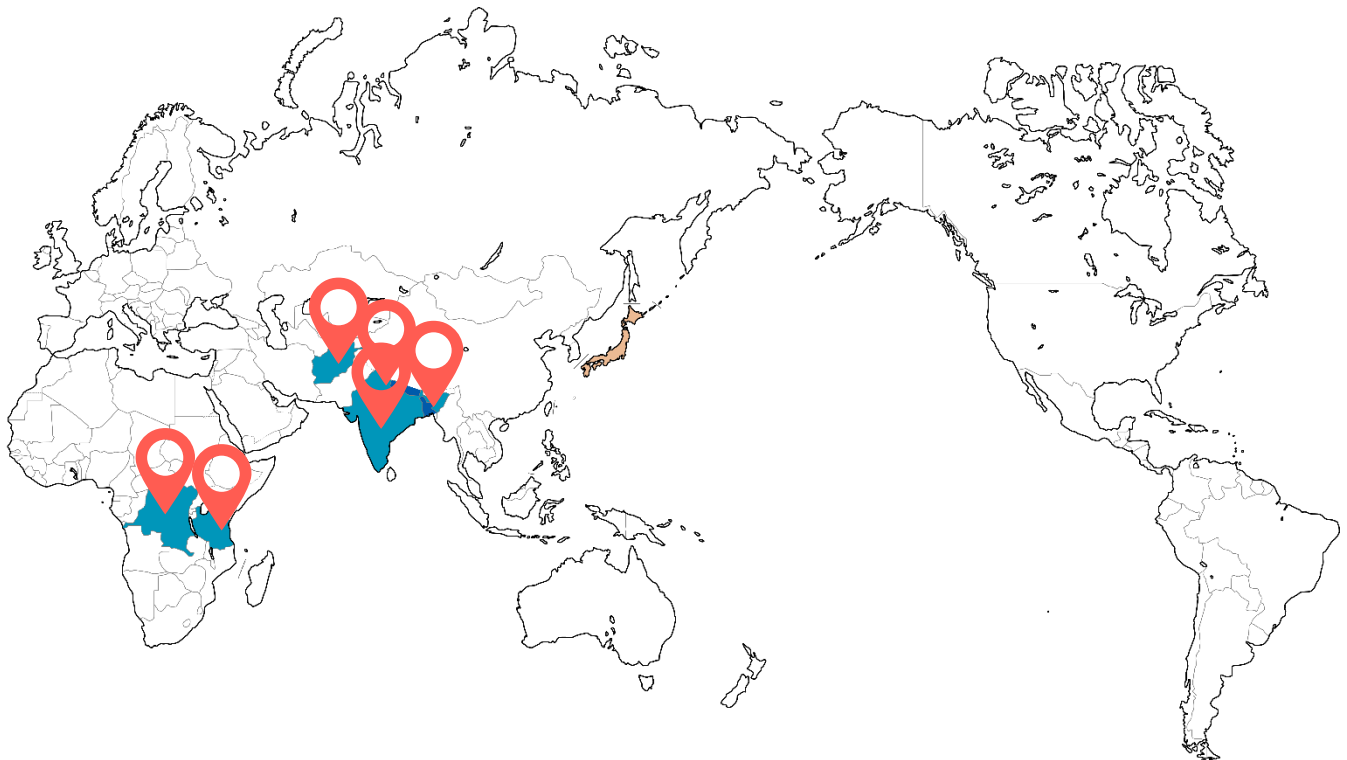
対象国：ネパール 公募期間：2023年1月～3月 選考期間：4～5月 助成金支給開始：6月

事業図



これまでのあゆみ

沿革	主な出来事
2018年8月	一般財団法人設立
2020年2月	公益認定取得 → 公益財団法人へ
2021年6月	事業者貸付、事業者助成 新公益事業追加
2021年7月	留学生 1人 選出
2022年7月	ネパール実習生 4人全員実習開始
2023年5月	インド実習生 計5人に
2023年6月	ネパールNGO 1団体選出



留学生支援	数	実習生支援	数	受入農家支援	数	NGO支援	数
タンザニア	1	ネパール	4	茨城県	1	ネパール	1
アフガニスタン	1	インド	5	栃木県	1		
バングラディシュ	1			熊本県	1		
コンゴ民主共和国	1						

MJBLの「法人概要」

法人概要

名 称	More Jobs Better Lives 公益財団法人（※略称：MJBL）
住 所	東京都品川区東五反田1-11-15 電波ビル6F
設 立 日	2018年8月1日（※公益認定日 2020年2月5日） ※決算期 7月
代表理事	若山 陽一
TEL / Email	03-4500-8610 / info@mjblfoundation.org
U R L	https://www.mjblfoundation.org
目 的 mission	More Jobs Better Lives
事業分野 project	仕事創造 / 雇用創出 / 人材育成
公益目的事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生 支援事業 ・外国人技能実習生 支援事業 ・外国人技能実習生 受入農家支援事業 ・事業者に対する資金貸付事業 ・事業者に対する助成金の給付事業

役 員	氏 名	主なプロフィール	(※順不動)
代表理事	若山 陽一	UTグループ(株) 代表取締役社長 兼 CEO	
理 事	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授 (株)ハニーコミュニケーションズ所属	
理 事	小柴 正浩	ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパン(株) 代表取締役社長	
監 事	浅野 恵理	辻・本郷税理士法人 シニアパートナー 税理士	
評議員	本郷 孔洋	辻・本郷 税理士法人 代表社員	
評議員	岡芹 健夫	高井・岡芹法律事務所 所長弁護士	
評議員	高谷 裕介	祝田法律事務所 パートナー弁護士	

選考委員	氏 名	主なプロフィール
委員長	下嶋 聖	東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 准教授
委 員	伊藤 信一	社会保険労務士法人 伊藤事務所 社会保険労務士
委 員	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授 (株)ハニーコミュニケーションズ所属

事務局	氏 名	主なプロフィール
スタッフ	山辺 由梨乃	MJBL職員
スタッフ	勝手 成男	MJBLネパール駐在員

最後に

地球全体の人口は約77億人、15歳以上の労働年齢人口は約57億人、世界中で雇用された人は約33億人、労働力ではない人は約23億人、失業者が約2億。そして、貧困労働や仕事と言えない仕事など世界中で約20億人の労働者が非公式に雇用されており、世界の労働力の61%を占めています。

(世界の雇用及び社会の見通し2020年版：ILO)

More Jobs Better Livesをミッションステートメントとして、貧困労働や失業など世界中（開発途上国）で仕事が必要なところに直接及び間接的に仕事創造／雇用創出に資する支援活動を行い、生活水準の向上に寄与することを目的として、仕事創造、雇用創出、人材育成の事業活動を実施しております。その第一歩として、外国人留学生支援事業、外国人技能実習生支援事業、外国人技能実習生の受入農家支援事業を展開し、これからの時代を担うリーダーの人材育成、日本の技術技能の伝承、専門分野の人材育成を実施しております。そして、新事業として事業者を支援する事業活動を加え、より大きな雇用創出を目指しています。

事業活動に関しまして、新型コロナウイルス感染症による渡航制限など非常に大きく影響を受けておりますが、少しずつでも前へ歩んで参ります。

私たちの活動はまだまだ小さいですが、雇用を通して生活水準が向上する共通価値感をお持ちの方々、「寄付」「技術協力」「情報提供」など、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

年次報告書 2023



お問合せ先
More Jobs Better Lives 公益財団法人 事務局宛
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-11-15 電波ビル6F
TEL: 03-4500-8610
E-mail: info@mjblfoundation.org